

小学校3年：日なたと日かげ におけるKBの活用

活用のポイント

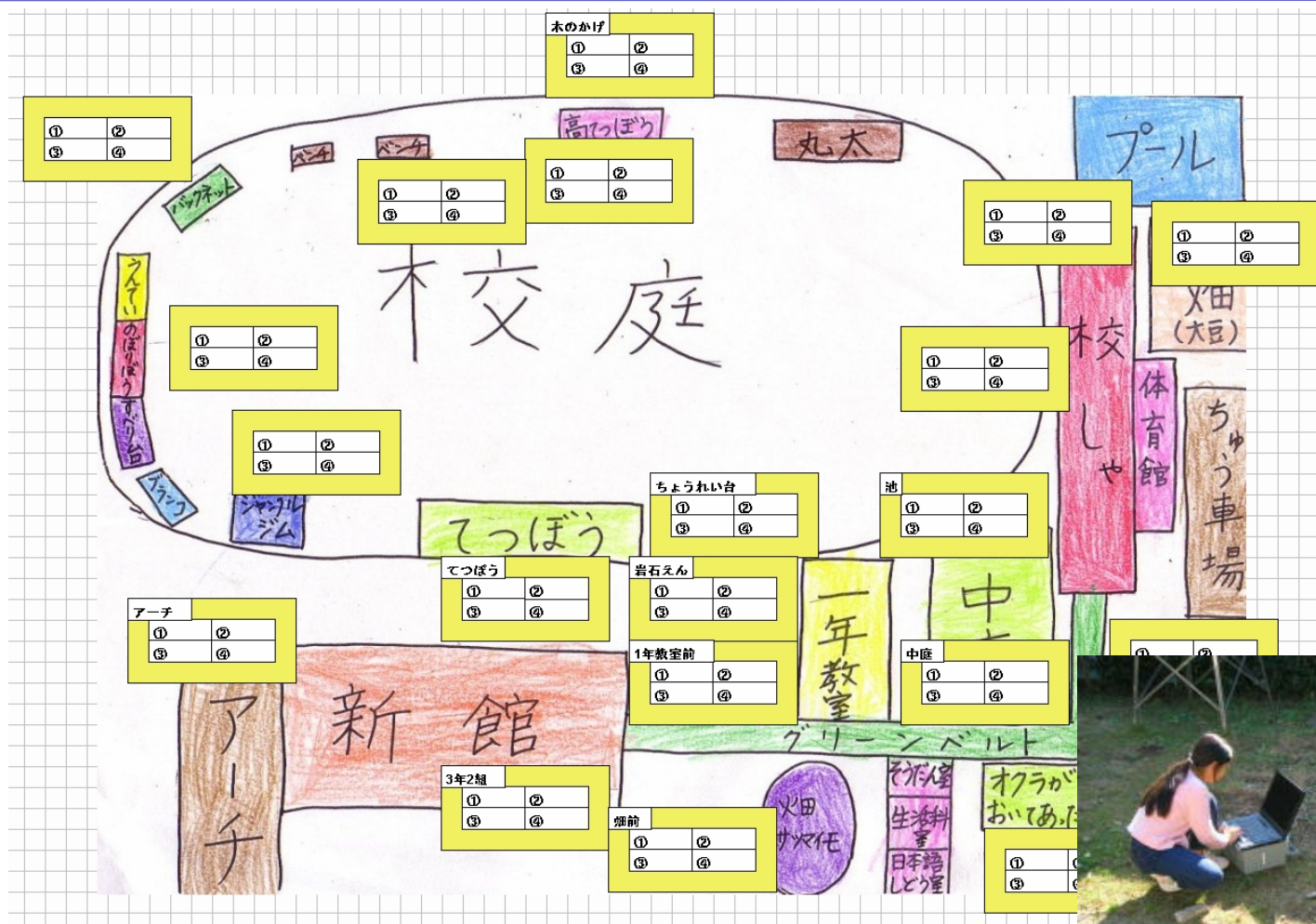
- ①校内の各地点での測定結果がリアルタイムにわかる。
- ②離れた測定場所の班との意見交換ができる。
- ④データが蓄積され、活動の振り返りがしやすい。
- ③作成されたデータの分類や整理が容易である。

三志奈 仁美(つくば市立並木小学校)

実践の流れ

- (1) 学校内の様々なポイントで「日なたと日かげ」の温度を測定する。
- (2) 測定結果の発表および質疑
- (3) 測定結果を比較検討する。
- (4) 新たな疑問に対し、発展的な学習を行う。
- (5) 学習のまとめを行う。

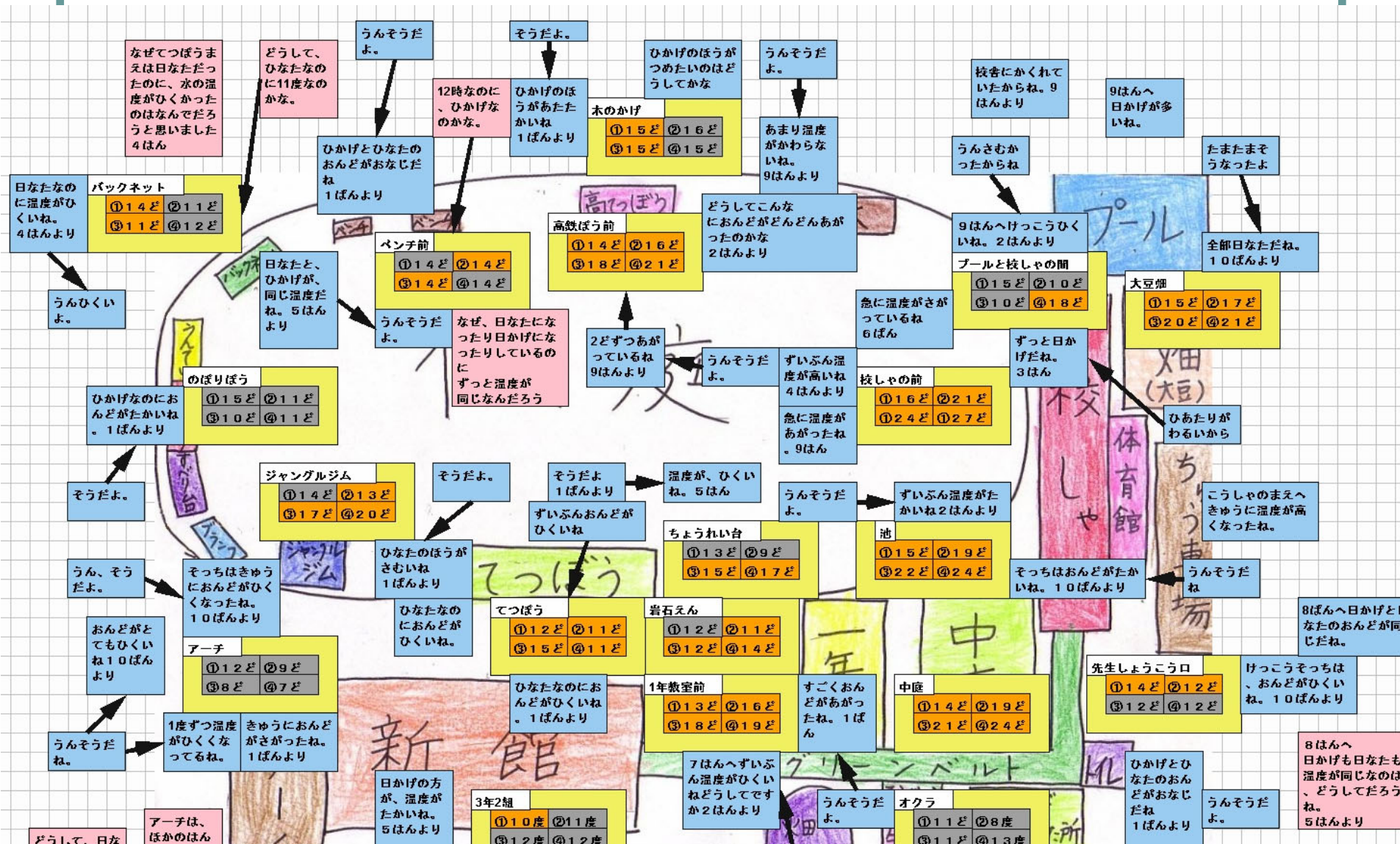
測定結果をリアルタイムに公開



背景は、子どもの描いた校内図を貼り付けた。
予め、温度記入用のボックスを各ポイントごとに作成した。



離れた班と意見交換

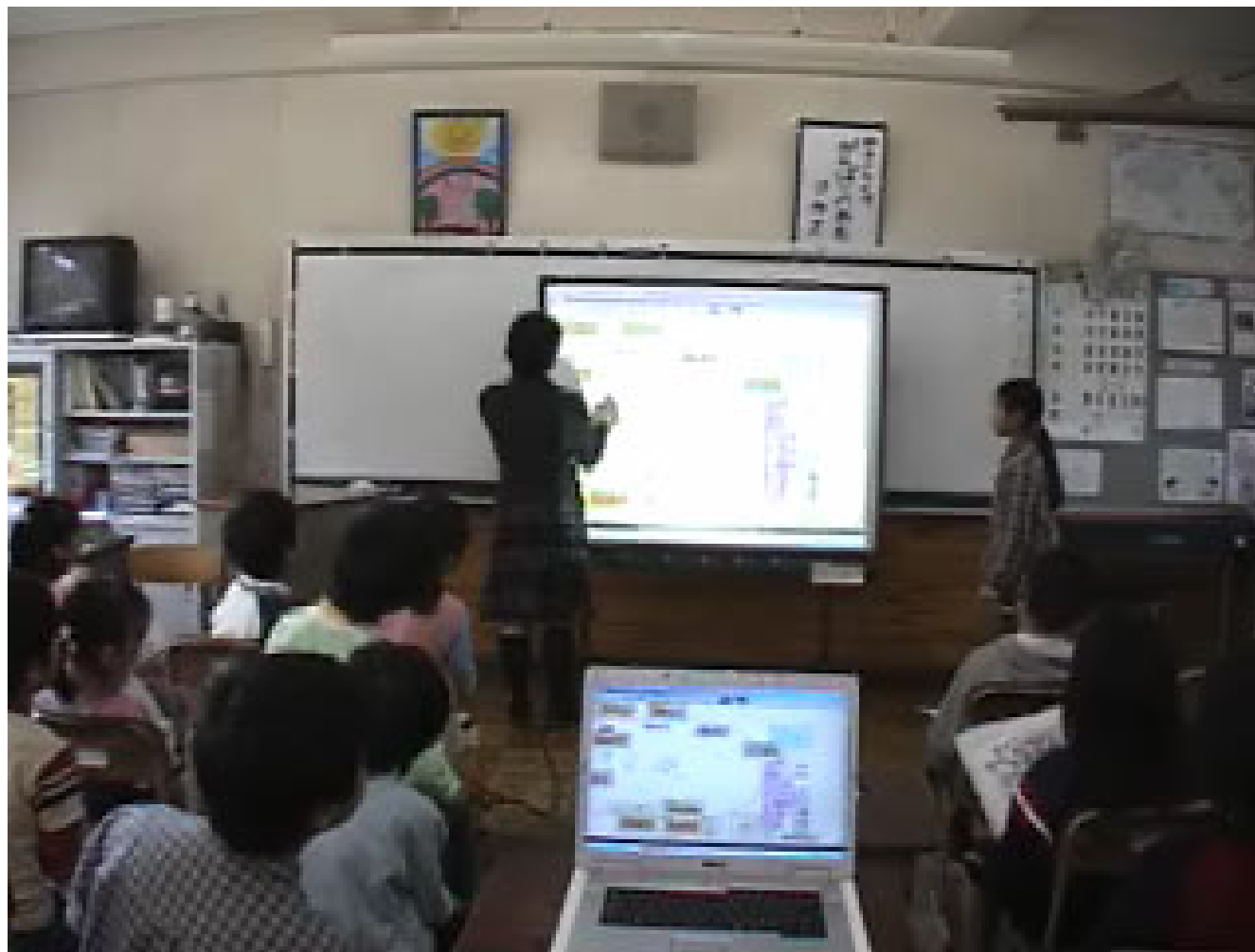


観測結果の発表会



蓄積されたデータを、検討し、その結果を発表する。
しかし、深まらない(データの比較が不十分なのは・・・)

データの分類・比較・検討



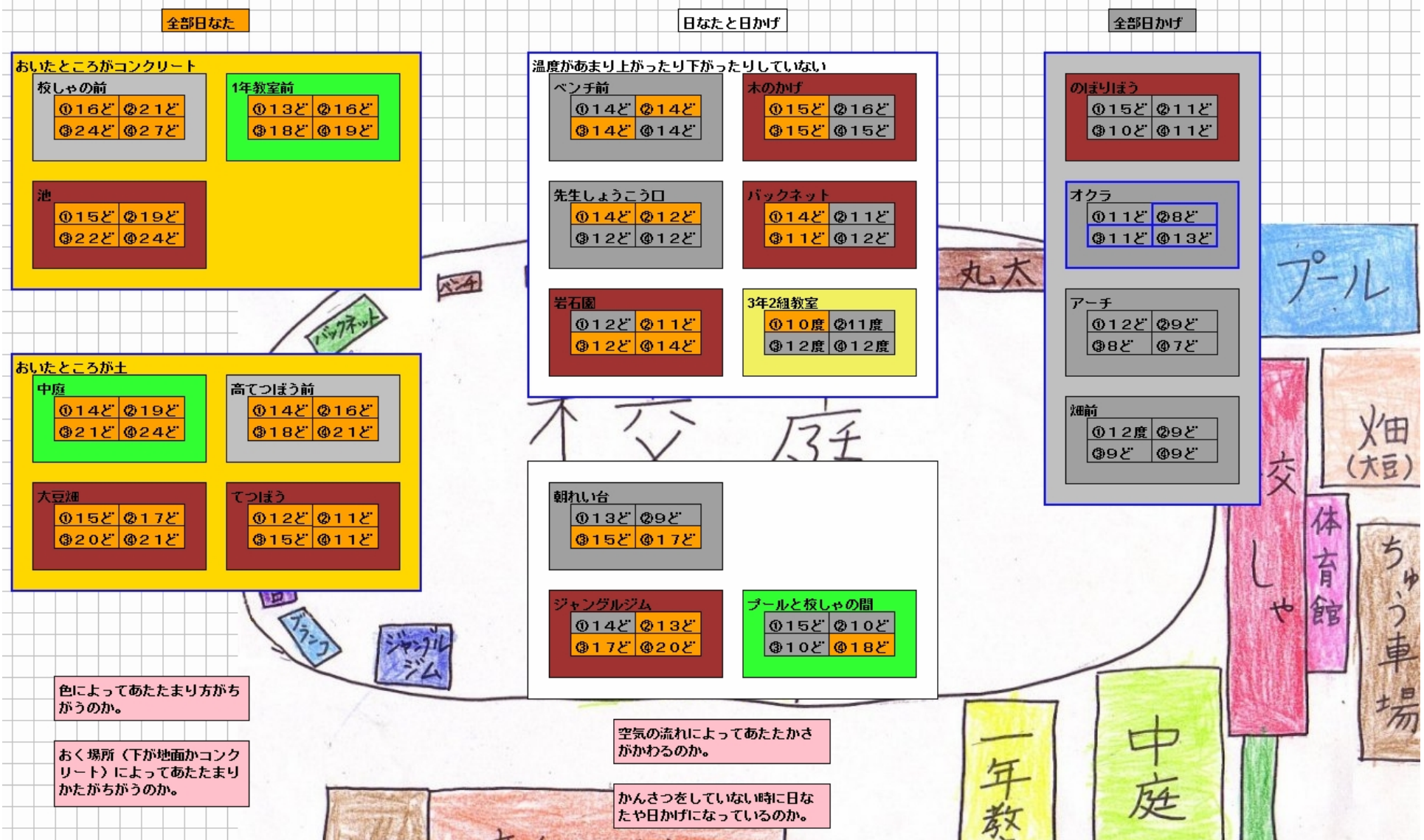
KJ法のように、データを分類し、比較、検討する

データの分類・比較・検討



KJ法のように，データを分類し，比較，検討する

データの分類・比較・検討



新たな疑問を解決する

